



桑山美術館と昭和美術館見学 令和03年10月20日
(その1)

桑山美術館玄関



◇桑山美術館
名古屋市昭和区山中町 2-12

桑山美術館は知多市出身の実業家で初代館長の「桑山清一」が、永年に亘り収集した美術品や工芸品を基に、1981年(S56)開館。近代の日本画や鎌倉時代から現代に至る茶道具を中心とする所蔵品を4月～7月日本画、9月～12月茶道具、1月～2月新春展で展示替えしている。
また回廊式の庭園には桜・牡丹・紅葉等と共に様々な形態の「燈籠」14基が点在する。



◇展示室内部(撮影禁止)



◇屋上から御嶽山・北部方面を展望



◇名古屋駅・御在所岳方面を展望



◇桑山美術館南面の外壁と回廊



◇庭園内の茶席「青山」



令和03年10月20日

桑山美術館と昭和美術館見学

(その2)



昭和美術館



◇昭和美術館の全体案内図
名古屋市昭和区汐見町地内

昭和美術館は、岐阜県海津市出身で名古屋の国産自動車開発事業等に携わった「後藤幸三」が1978年(S53)開館。彼が永年に亘り収集した書・茶道具を保存・研究・公開目的で設立した個人コレクションで、敷地内には3つの茶室が点在し、特に「南山寿荘」は愛知県指定文化財で、「捻駕籠」の席が有名。



◇1F 展示室内部(撮影禁止)



◇2F「万葉の歌をつなぐ書写本の謎」
特別展示中



◇1F～2F間の階段シャンデリア



◇池越しに「南山寿荘」を望む



◇「南山寿荘」南側で、左側2Fが「捻駕籠」の茶室(閉館中)

